

CHOFU

暖房ボイラ
〔油だき温水ボイラ〕

取扱説明書 (保証書付)

型名

CUG-116CSR A1

CUG-166CSR A1

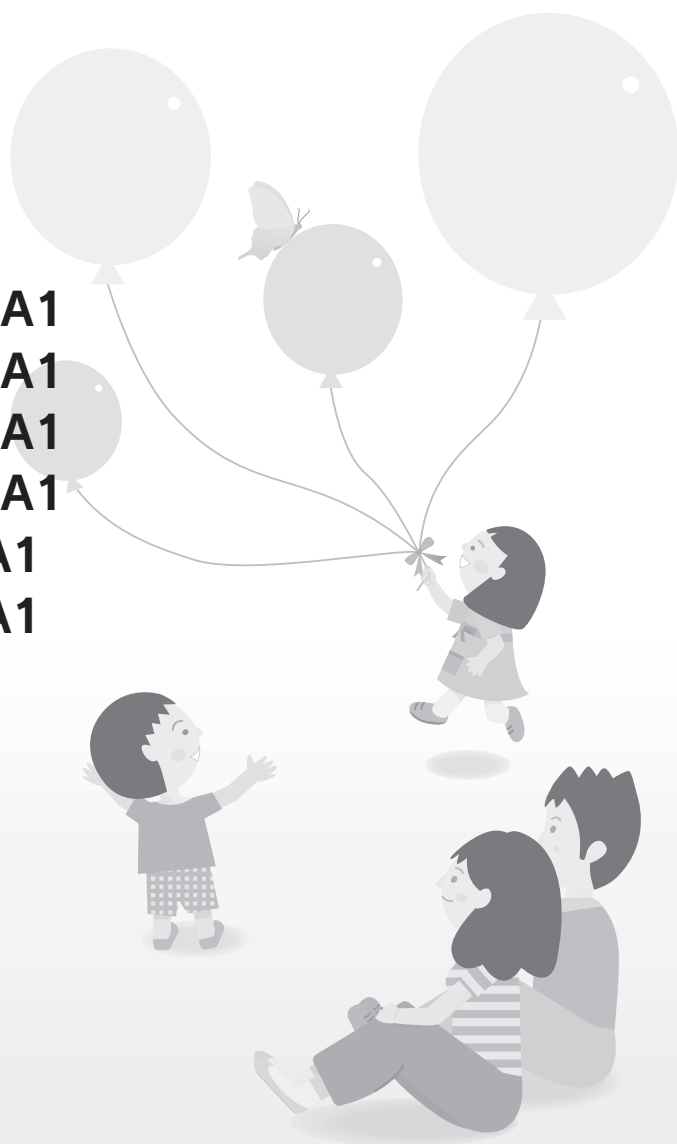
CUG-196CSR A1

CUG-376CSR A1

CUG-196MR A1

CUG-376MR A1

種類記号:F/O



このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

32400119500C

もくじ

ご使用前に	特に注意していただきたいこと 2~5 各部のなまえ 6~8
準備	使用前の準備 9~11 ● 燃料 9 ● 給油 9 ● 点火前の準備と確認 10~11
使用方法	使用方法 12~15 ● 運転開始 12 ● 温度調節の方法 13 ● 運転停止 14 ● 凍結予防 14 ● 使用上の注意 15 ● 長期間使用しないとき 15
点検・その他	日常の点検・手入れ 16~17 定期点検 18 故障・異常の見分け方と処置方法 19~21 部品交換のしかた 22 仕様 23~25 アフターサービス 26 据付け 27~29
保証書	保証書 巻末

特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項が表示されています。

表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。

●ここに示した事項は ⚠ 警告、⚠ 注意に区分しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●イラスト（まんが）の横にあるマークは次のように表しています。



マーク

禁止



マーク

指示



マーク

注意

温水ボイラや放熱器の選定は、建物の断熱状態や暖房する室数、広さ等により異なります。

全体の必要熱量をよく調べ選定してください。

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 警告(WARNING)

ガソリン厳禁

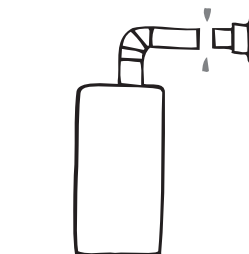
- ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



ガソリン厳禁

給排気筒(管、ホース)外れ危険

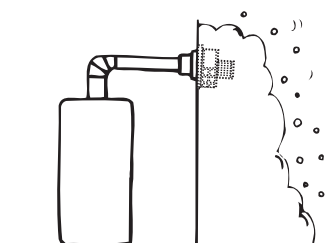
- 給排気筒(管、ホース)が外れたままで使用しないでください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

給排気筒トップ閉そく危険

- 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

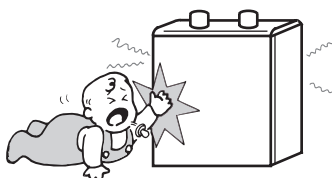


禁止

⚠ 注意(CAUTION)

高温部接触禁止

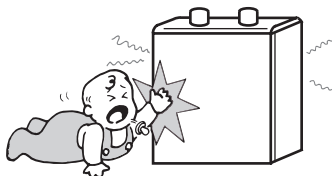
- 燃焼中や消火直後は高温部（ボイラ上面など）給排気筒（給排気筒トップ、排気トップ）、排気口、排気管に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。特にお子さまをボイラに近づけないでください。



禁止

高温注意

- 暖房配管接続口のまわりは高温になるので注意してください。やけどのおそれがあります。



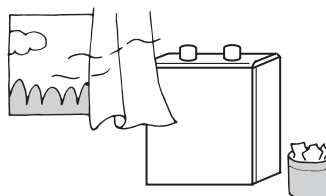
注意

安全のために必ずお守りください

⚠ 注意(CAUTION)

可燃物禁止

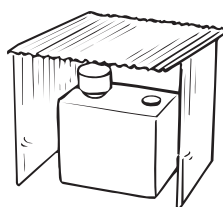
- 機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
また、排気筒や排気管も高温になりますので近づけないでください。
火災のおそれがあります。



禁止

囲い禁止

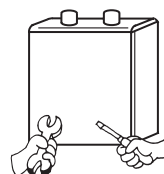
- 機器や排気口を波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。



禁止

分解修理・改造の禁止

- 故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。



禁止

異常時使用禁止

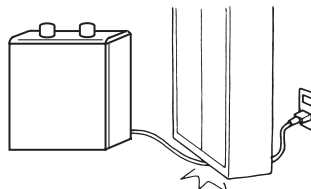
- 万一、異常（異音、異臭、変色など）を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



禁止

電源コードを傷めない

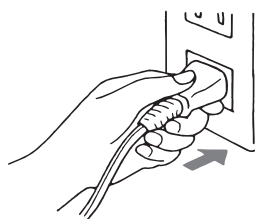
- 電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。（また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。）火災の原因になります。ぬれた手でプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



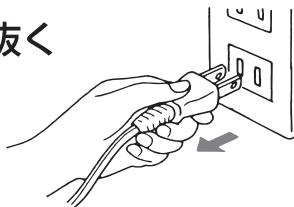
指示

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 注意(CAUTION)

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

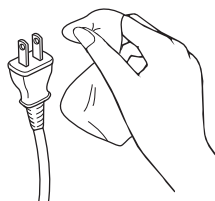
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜く

電源プラグのお手入れをする

- ときどきは電源プラグを抜き、ほこり（及び金属物）を除去してください。
（ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり）火災の原因になります。



指示

異物を入れないで

- 機器の内部には紙、布、プラスチック、金属などの異物を入れないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

循環液（不凍液、補充液）の保管に注意[?]

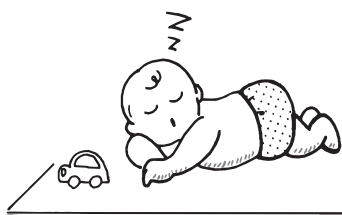
- 循環液（不凍液、補充液）は幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、飲んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。



注意

低温やけどに注意

- 床暖房やパネルヒータの場合、長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。比較的低い温度（40℃～60℃）でも低温やけどのおそれがあります。赤ちゃんやお年寄りなどは特にご注意ください。また、お酒によってそのまま寝たり、長時間寄りかかったりしないてください。



注意

油漏れ確認

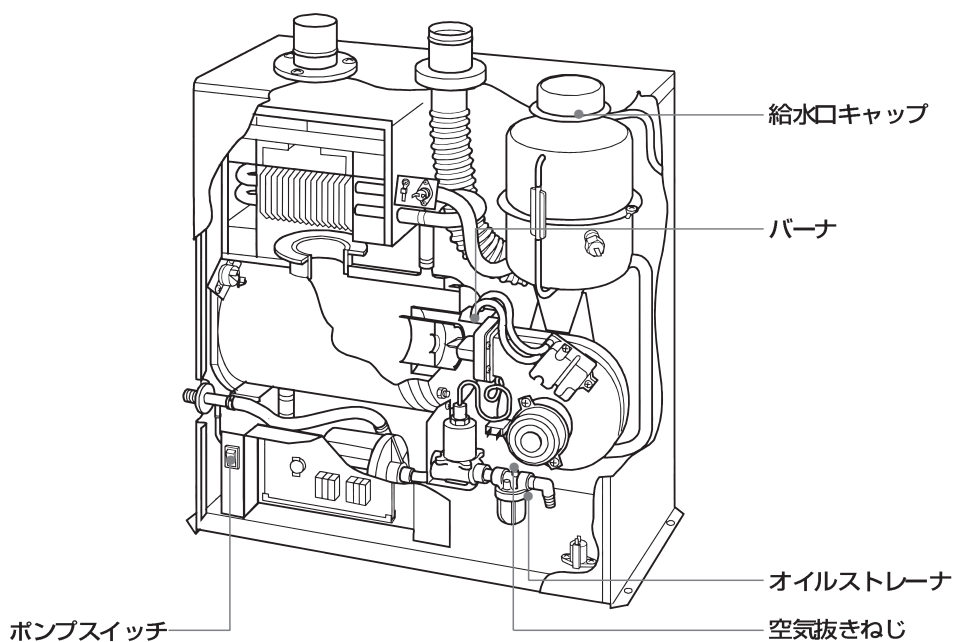
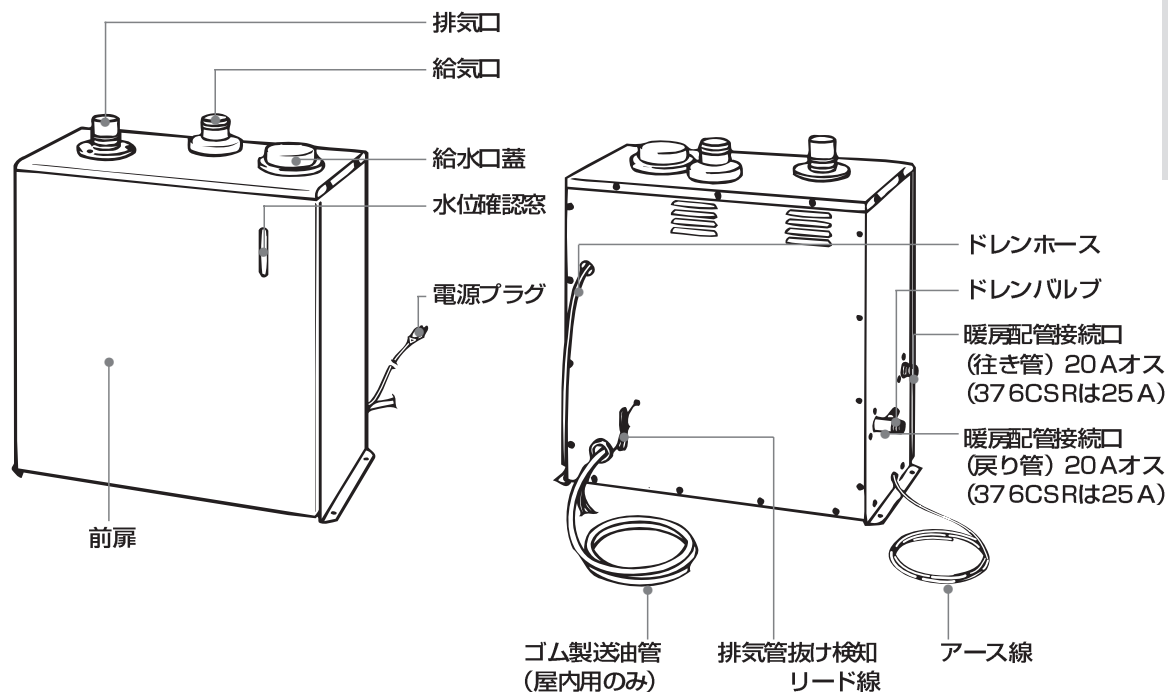
- 油タンク、ゴム製送油管・接続部およびボイラ等から灯油漏れがないことを確認の上ご使用ください。
灯油が漏れていると火災のおそれがあります。



注意

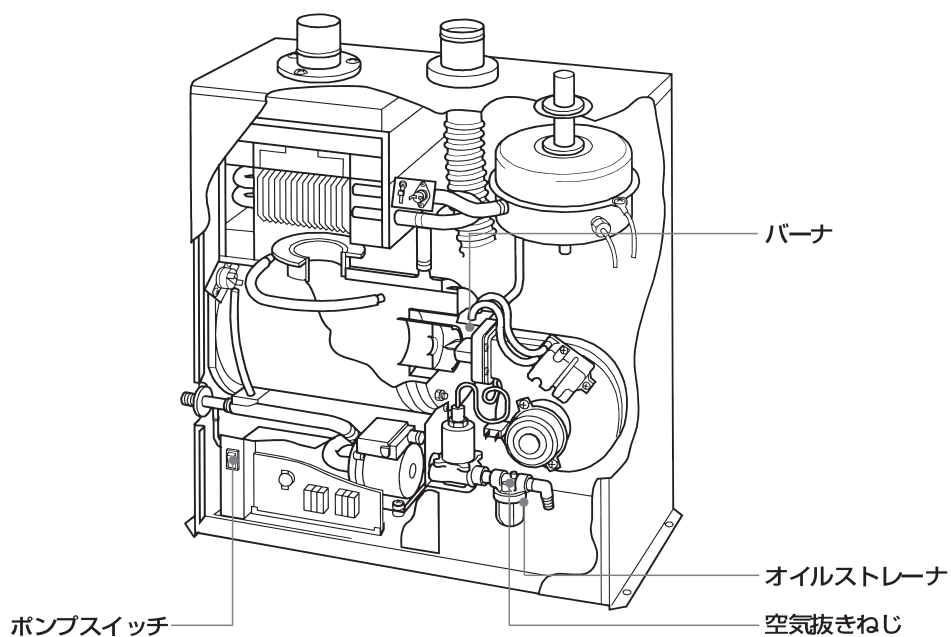
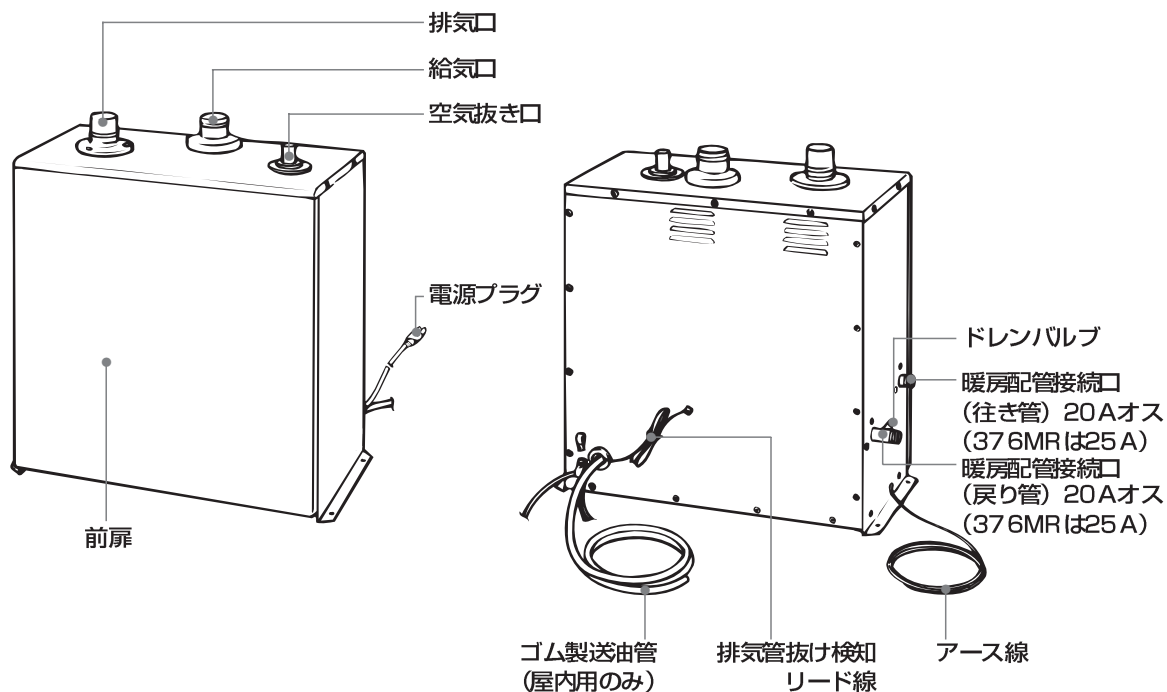
各部のなまえ

■ 外観図・構造図 (CUG-116CSR型、166CSR型、196CSR型、376CSR型)



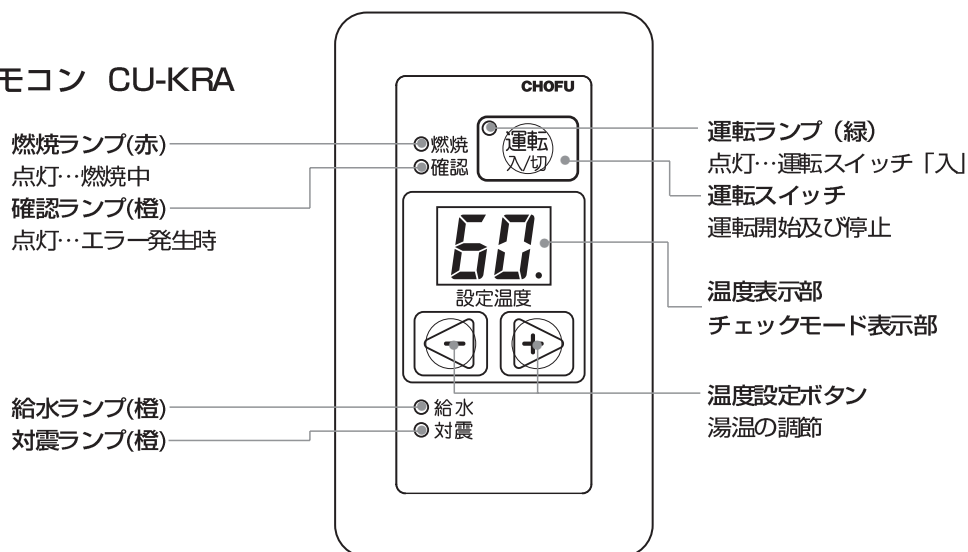
各部のなまえ つづき

■ 外観図・構造図 (196MR型、376MR型)

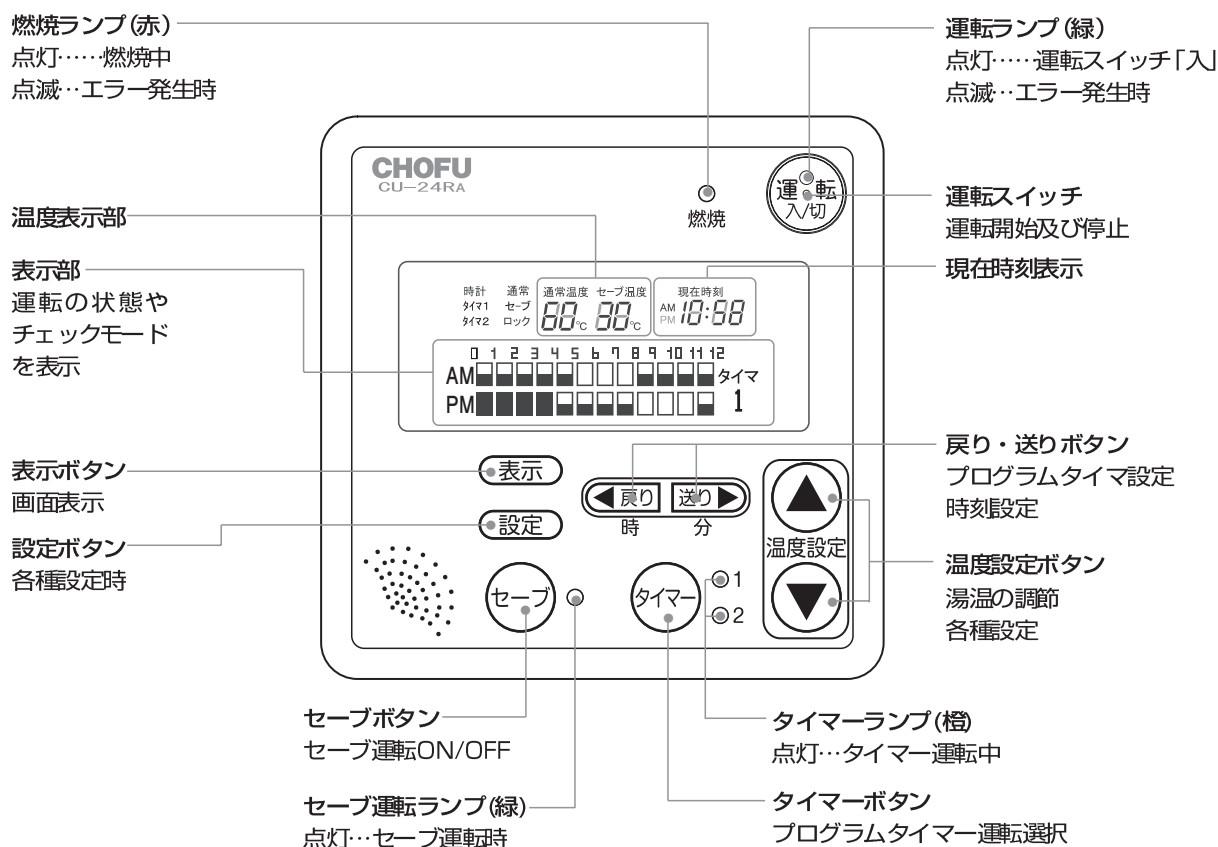


■リモコン(別売)

● 簡単リモコン CU-KRA



● 蛍光管リモコン CU-24RA



使用前の準備

燃料

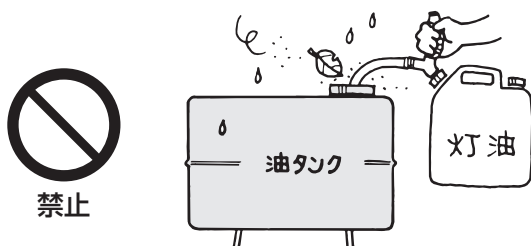
- 燃料は、灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。
- 変質灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などは絶対に使用しないでください。
点火しにくくなったり、燃焼が悪くなったり、製品を縮めます。
- 灯油添加剤は使用しないでください。

給油

1 給油の際の注意

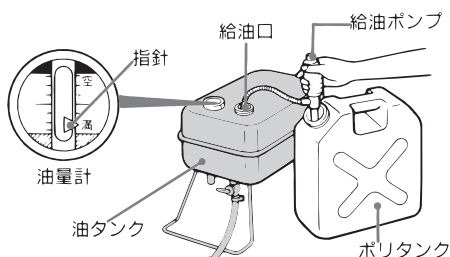
給油の際に、水・ごみなどを入れないように特に注意してください。

水・ごみなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。



2 油タンクの給油口ふたを外し、給油する

- 油量計の表示が「満」の印以上には絶対に入れないでください。

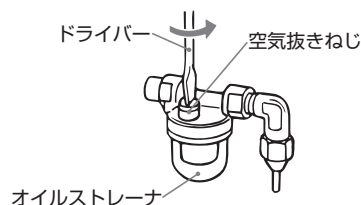


3 給油口ふたは確実に閉めてください

4 こぼれた灯油はよくふきとってください

5 燃料切れの注意と空気抜きの方法

- 油タンクを空にしないように注意してください(空運転すると空気抜きが必要となります)。
- 空気抜きの方法
 - ①電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
 - ②前扉を外し、オイルストレーナの空気抜きねじを反時計方向に徐々に回してください。
 - ③空気抜きねじの部分から油が出ると空気抜きが完了です。
 - ④空気抜きねじ部分から油漏れしないように、しっかり締め付けてください。
 - ⑤油がこぼれた場合はよくふきとったのち前扉を取り付けてください。



■ 点火前の準備と確認

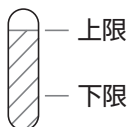
1 安全装置のセット・取扱上の注意

- 安全装置が作動し、リモコンの確認ランプが点灯しているとき(簡単リモコンの場合)、又は運転ランプと燃焼ランプが点滅しているとき(蛍光管リモコンの場合)はリモコンの運転スイッチを一旦「切」にした後、2～3秒まって再度スイッチを「入」にして解除復帰させてください。

2 循環水の水位確認

(CUG-116CSR型、166CSR型、196CSR型、376CSR型)

- ボイラ前面の水位確認窓から循環水の水位を確認してください。
(給水方法は17ページ参照)



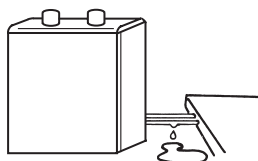
- 暖房運転中は循環水が膨張し水位が上昇します。上限以上給水しますと運転中本体後部ドレンホースより循環水があふれ出ることがありますので容器で受けてください。

3 循環水(不凍液)漏れの確認

- 温水配管接続部から水漏れがないか確かめてください。
万一、水漏れしている場合は温水回路のバルブを閉め、必ずお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



注意

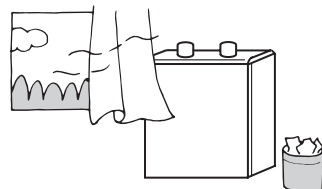


4 ボイラ周辺の確認

- ボイラの上や周囲、給排気筒トップ、排気トップ及び排気口の周囲に引火物や可燃物を置かないでください。
火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。



禁止

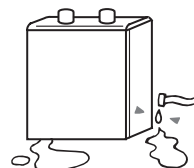


5 油漏れの確認

- 油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないかどうか確認してください。
油漏れや油のにじみは危険です。
万一、油漏れしている場合は送油バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



注意

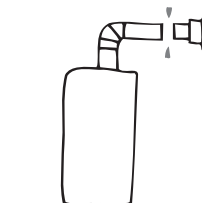


6 給気ホース・排気管の接続の確認

- 給気ホース・排気管が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に排ガスが漏れて、大変危険です。



指示



■ 使用前の準備 つづき

7 電源プラグの接続

- 電源プラグは専用コンセント（家庭用 AC100V）に差し込んであるか確認してください。

使用方法

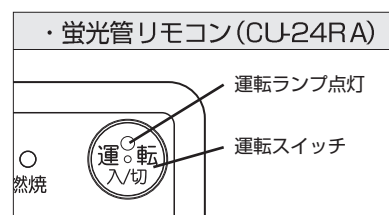
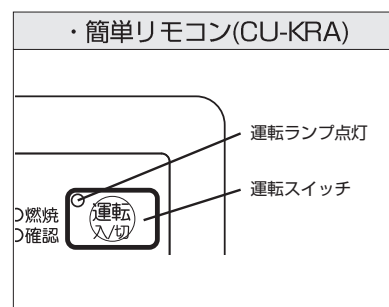
ボイラの運転・停止の操作はリモコン(別売)で行います

詳細は各リモコンの取扱説明書をお読みください。

■運転開始

1 運転スイッチを「入」にする

- 運転ランプが点灯し、循環ポンプが運転します。
 - 約15秒後、燃焼ランプが点灯し燃焼を開始します。
 - 設定湯温になると燃焼が停止し、燃焼ランプは消灯します。
- ※ 湯温によって自動的に燃焼、停止をくり返し、それに合わせて燃焼ランプも点灯、消灯をくり返します。

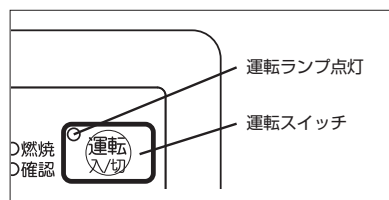


- 運転開始した後や運転中、あるいは運転停止した後にも金属音がすることがあります。これは、燃焼部分の金属が膨張、収縮するときの音で異常ではありません。
- 初めての使用ではパッキンの臭いがしますが異常ではありません。

使用方法 つづき

■温度調節の方法（簡単リモコンCU-KRAの場合）

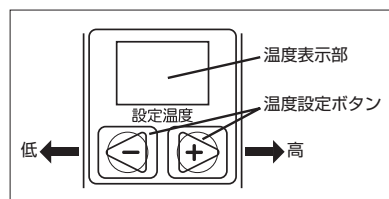
1 運転スイッチを「入」にする。



2 温度設定ボタンを押し、温度表示部を見ながら好みの温度に調節してください。

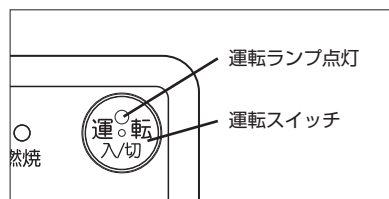
- ボタンを押すと5℃ずつ変化します。

湯温調節の範囲
35℃～80℃



■温度調節の方法（蛍光管リモコンCU-24RAの場合）

1 運転スイッチを「入」にする。



2 温度設定ボタンを押し、温度表示部を見ながら好みの温度に調節してください。

- 表示部左上に「通常」が点灯しているときは通常温度、「セーブ」が点灯しているときはセーブ温度が調節できます。
- ボタンを押すと5℃ずつ変化します。

湯温調節の範囲

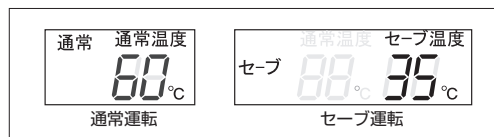
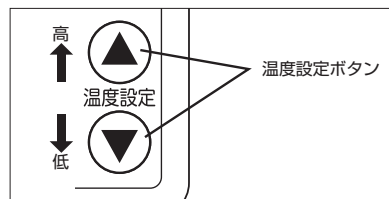
通常温度……35～80℃

セーブ温度……20～60℃

ただしセーブ温度は通常温度以上には調節できません。

また通常温度はセーブ温度以下には調節できません。

※詳細は各リモコンの取扱説明書をお読みください。

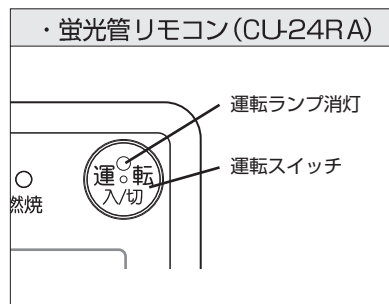
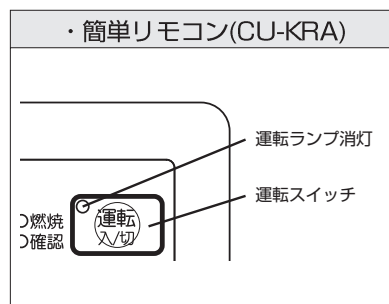


- 湯温をむやみに高くしないでください。

システムに合った設定温度で使用してください。特に床暖房システムの熱源機としてご使用の場合、お買上げの販売店、又は工事店の指導を受けてください。

■ 運転停止

- 1** 運転スイッチを「切」にする。
- 運転ランプが消灯し、運転を停止します。



- 長時間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは運転を停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。
- 異常時、緊急時はあわてずに運転スイッチを「切」にし消火してください。

■ 凍結予防

- 1** 凍結予防及び腐食防止の為に必ず当社純正不凍液を使用してください。不凍液は割合を守って入れてください。
- 他の不凍液を使用したり、混合したりすると製品の寿命が短くなったり、缶体の音鳴りや腐食による内部からの液漏れが発生するおそれがあります。
 - 指定の不凍液をご使用にならないことによる熱交換器・配管回りの、凍結・破損・腐食については、保証いたしません。

2 循環水の補充

- 循環水が蒸発し補給する場合は専用の補充液を使用してください。
- ※ 1. 補充液を補給することにより不凍液の交換時期は6～7年となります。
2. 水を補給した場合は、不凍液の交換時期は2～3年となります。

使用方法 つづき

■使用上の注意

床暖房の熱源として使用の場合、床温に注意

- 床の表面温度が熱くなりすぎないように、ボイラの湯温調節や床暖房の温度調節器の温度には十分注意してください。低温やけどをするおそれがあります。
また、次のようなかたがご使用になるときは、まわりの人が常に注意してあげてください。
 - ・ 体力のない病人、乳幼児、お年寄りなど自分の意志で体を動かせないかた
 - ・ 皮膚の弱いかた・疲労の激しいとき・深酒されたとき
- カーペットなどがはがれていると、ふれたときやけどをする場合がありますので、十分注意してください。



雷時の注意

- 雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 激しい雷の影響でボイラが故障するおそれがあります。

■長期間使用しないとき

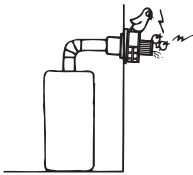
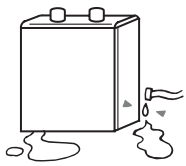
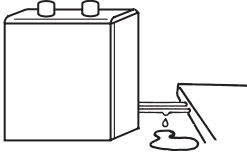
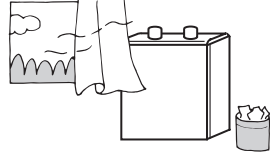
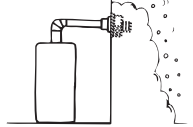
- 1 電源プラグをコンセントから抜いてください。
※電源プラグは運転を停止してから抜いてください。
- 2 油タンクの送油バルブを「閉」にしてください。

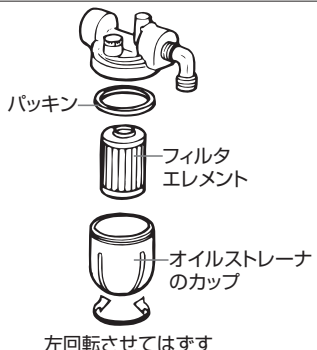
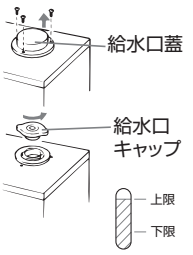
日常の点検・手入れ

■点検・手入れのときの注意

- 必ず運転スイッチを「切」にして、ボイラが冷えてから行ってください。
- 電源プラグは必ずコンセントから抜いてください。

■点検・手入れの必要項目、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方	法
シーズンはじめ	給気ホース 排気管	●給気ホース・排気管の接続箇所が外れていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。 ●排気管に腐食がないか点検します。 外れや腐食があった場合は排ガスが漏れて危険です。使用をやめ、修理を依頼してください。	
	給排気筒トップ 排気トップ	●排気トップ・給排気筒トップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。 ふさがれている場合は不完全燃焼し危険ですので取り除いてください。	
使用ごと	油漏れ・油のたまり・油のにじみ	●ボイラ、送油経路に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検します。 油が漏れている場合は危険ですので使用をやめ修理を依頼してください。	
	循環水の漏れ	●温水配管に漏れがないか点検します。 ●循環水の減りが早い場合には床暖房パネルや温水配管等から漏れていることが考えられますので点検を依頼してください。	
	周囲の可燃物・引火物	●ボイラの上や周囲・給排気筒トップ・排気トップ及び排気口の周囲に可燃物、引火物がないか点検します。火災の危険がありますので置かないでください。	
	排ガスの漏れ	●排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていますと危険です。	
	給排気筒トップ	●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。	

時期	点検・手入れ項目	方 法
給油のとき	油タンク	● 油タンク内に水やごみがたまっていないか点検します。 ● 油タンク内の水抜き、ストレーナ(ろ網)の掃除は、油タンク附属の取扱説明書に従って行ってください。 
月に1回以上	本体についたほこりなど掃除	● 本体及びその周辺のほこりを掃除機などで取り除きます。 ● 本体の汚れは、中性洗剤を浸した布でふいてください。 ● ガソリン・ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。
	ゴム製送油管(屋内用のみ)	● ゴム製送油管にひび割れが生じていないか点検します。 ● ゴム製送油管は劣化しますので3年に1度新しい物に交換してください。 ● 屋外部分及び埋設部分には絶対に使用しないでください。
6カ月に1回以上	電源プラグ	● 電源プラグにほこりが付着していないか点検してください。
	オイルストレーナ	● 前扉を外しオイルストレーナ内の水やゴミを点検します。 1 油タンクの送油バルブを閉める。 2 オイルストレーナのカップを外す。 3 フィルタエレメントを下方へ抜き、きれいな灯油で洗う。同時にカップも洗う。 4 パッキンを忘れずに取り付け組みつける。 5 空気抜きを行う。(9ページ参照) 
循環水の水位が「下限」以下の時	循環水の給水 (補充夜の補給) (CUG-116CSR型 CUG-166CSR型 CUG-196CSR型 CUG-376CSR型)	● 循環水が蒸発して水位が「下限」以下になった場合は循環水が冷えたのち、次のように専用補充液を補給します。 1 給水口蓋を外す。 2 給水口キャップは器具が冷えるのをまって開く。 熱いうちに開けると熱湯が吹き出しやけどをする危険があります。 3 補充液を「上限」の水位まで入れ、給水口キャップを閉じる。  「上限」の水位以上入れますと暖房運転中本体後部ドレンホースより循環水が一定量あふれ出ることがありますので容器で受けてください。 ※補充液、不凍液は必ず当社純正品をご使用ください。 ※循環水が漏れて水位が下がった場合や不凍液交換時は専用の不凍液を所定の割合に水道水で薄め給水します。
シーズンオフ	本体の燃焼確認	● シーズンオフ時に1～2回、15分程度、正常に運転するか確認してください。(運転方法9～15ページ参照) ※これは循環ポンプの動作不良や電磁ポンプ・ノズルのどのつまりを防止し、耐久性を高めるための確認です。 異常な現象が生じた場合(21ページ参照)は、運転を中止してお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

定期点検

本機器は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL.03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

1年に1回定期点検を受けてください。

定期点検

定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。

安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

お申し込み先

お客様→お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所。

定期点検費用

定期点検の費用についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客様にご相談申しあげます。

定期点検の内容

定期点検の内容	項	目
設置状態、給排気まわりの点検・確認	● 製品の設置・使用状態 ● 給排気筒接続とつまり ● 給排気筒トップのつまり	● 送油経路部の油漏れ ● 温水経路部の水漏れ
安全装置及び運転動作の点検・確認	● 安全装置の働き ● 操作部品や動く部品の働き	● 運転動作の点検
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	● オイルストレーナの点検・掃除・交換 ● 給排気部品・排気管接続用Oリングなどの点検 ● バーナ・電極・ノズル・炎検出器（フォトIC）などの点検 ● 送風機、循環ポンプの点検 ● 器具内温水系統のゴムホースの点検交換	● 各種パッキンの点検
製品の清掃・整備	● 本体内	● 油タンクの水抜き
循環水（不凍液）の点検・交換	● 不凍液の点検・交換 不凍液を入れたのち蒸発して水位が下がった場合 1. 専用補充液のみを補給した場合、不凍液交換時期は6～7年 2. 水を補給した場合は2～3年で交換となります。 凍結しない地域でも防錆・防食効果を保つために当社純正の不凍液、補充液を必ずご使用ください。	

故障・異常の見分け方と処置方法

異常が生じた場合は下表を参照にして、お客さまご自身で処置してください。

現 象	原 因	処 置 方 法
運転ランプが点灯しない	● 停電している ● 電源プラグが差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでから運転スイッチを「入」にしてください
循環水が循環しない	● 循環経路のバルブが閉じている	循環経路のバルブを開いてください
循環水の温度が上がらない	● 設定温度が低い	設定温度を高くしてください
ドレンホースから循環水がでてる	● 循環水の給水が上限以上になっている（CSRタイプ）	ドレンホースから出る循環水を容器で受けてください

エラーが表示されたとき

現 象		安全装置 〔その他 の装置〕	原 因	処 置 方 法
簡単リモコン 表示部点滅	蛍光管リモコン 表示部			
02	E02	対震自動 消火装置	● 地震（震度5以上）や強い振動、衝撃を受けたとき	設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒の外れなど異常がないことを確認してください
03	E03	点火安全 装置	● 点火不良のとき燃料切れのとき	油タンクに油があるか確認してください
04	E04	空だき 防止装置	● 循環水が減少したとき	循環水を補給してください
05	E05	燃焼制御 装置	● 燃焼不良で途中消火したとき燃料切れのとき	油タンクに油があるか確認してください
07	E07	〔異常過熱 防止装置〕	● 機器内部の温度が異常に上昇したとき	使用を中止し販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。
09	E09	燃焼制御 装置	● 点火不良を繰り返したとき	使用を中止し販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。
16	E16	過熱防止 装置	● 循環水の温度が異常に上昇したとき	使用を中止し販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。
17	E17	—	● 温度検出器が断線したとき	使用を中止し販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。

現 象		安全装置 〔その他〕 の装置	原 因	処 置 方 法
簡単リモコン 表示部点滅	蛍光管リモコン 表示部			
18	E18	—	● 送風機の故障	使用を中止し販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。
19	E19	〔排気管 抜け検 知装置〕	● 排気管がはずれている ● 排気管抜けリード線の接触不良	使用を中止し販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。
77	E77	—	● リモコン線の接触不良 リモコンが故障	使用を中止し販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。

エラーは運転スイッチを「切」「入」とすると解除できます。

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、使用を中止しお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

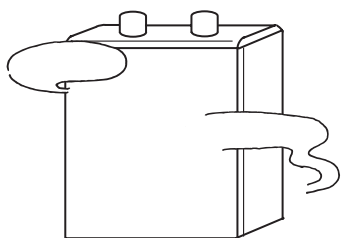
故障・異常の見分け方と処置方法 つづき

このような現象のときは使用を中止し、販売店にご連絡ください

- 使用される場所や条件又は長期間の使用により、下記のような現象が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、又は最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

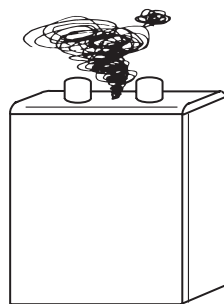
排ガスのおいがしたり、目がチカチカする

- 排ガスが漏れているおそれがあります。
排ガスが室内に漏れていると、危険です。



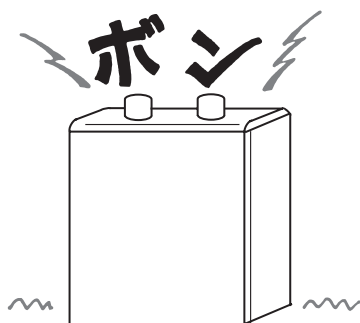
黒煙を出して燃える

- 燃焼が不完全になっています。



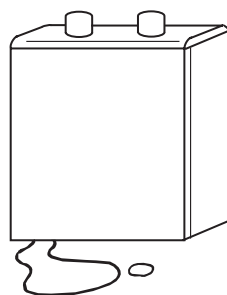
点火・燃焼中「ドカン」という異常に大きな音がした

- パッキンが飛散しているおそれがあります。
排ガスが室内に漏れ危険です。



ボイラ周辺に油が漏れている

- ボイラより油が漏れています。



部品交換のしかた

- 長期間の使用により消耗、劣化しやすい部分があります。
- 異常かなと思われましたら、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にお問い合わせください。個人での不完全な修理は危険です。
- 修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕が修理いたします。

■消耗、劣化しやすい部品について

(部品交換は必ず当社純正部品を使用してください)

項 目	内 容
使用時間により交換が必要な部品	各種パッキン・排気管接続用Oリング(4種D P 50、4種C P 70) ・ 温水系ゴムホース・オイルストレーナ ノズル・電極・水検知電極・不凍液など
環境により劣化しやすい部品	排気(給排気)筒系部品・各種制御基板・燃焼用送風機・循環ポンプ

仕様

型 式 の 呼 び		CUG-116CSR		CUG-166CSR	
種 類	記 号	F	O	F	O
	燃 焼 方 式	圧力噴霧式			
	給 排 気 方 式	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形
	用 途 別 方 式	暖房用・融雪用			
	給 水 方 式	タンク式			
	加 熱 方 式	1缶1水路式			
点 火 方 式		高電圧放電式(時限)			
使 用 燃 料		灯油 (JIS1号灯油)			
燃 料 消 費 量		12.4kw (1.21L/h)		18.0kw (1.75L/h)	
暖 房 効 率		86.7%		86.6%	
暖 房 出 力		10.8kw		15.6kw	
熱 交 換 器 容 量		2.7L			
保 有 水 量		5.5L (水タンク上限水位時)			
最 高 使 用 圧 力		0.1MPa			
伝 熱 面 積		0.416m ²			
外 形 寸 法		幅600mm 奥行240mm 高さ680mm			
質 量		30kg		30kg	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz			
定 格 消 費 電 力		点火時142/175W 燃焼時117/147W 待機時1.3W		点火時152/186W 燃焼時125/155W 待機時1.3W	
電 源 コードの長さ		約2m			
給排気筒の型式の呼び		RWT-7M-6,FT-7S4,RWT-7N-1	—	RWT-7M-6,FT-7S4,RWT-7N-1	—
給 排 気 筒 呼 び 径		D49	—	D49	—
給排気筒壁貫通部孔径		83~96mm	—	83~96mm	—
排 気 温 度		260℃以下			
騒 音 レ ベ ル		38dB	41dB	39dB	42dB
ノズル	噴 霧 量	0.4GPH		0.5GPH	
	スプレーパターン	ダンフォス社のホロータイプ			
	噴 霧 角 度	60°			
電 流 ヒ ュ ーズ		筒形φ5.2mm×20mm B種溶断 10A			
安 全 装 置		対震自動消火装置 点火安全装置 燃焼制御装置 過熱防止装置 空だき防止装置			
そ の 他 の 装 置		異常過熱防止装置、排気管抜け検知装置(F形のみ)			
システム最大水容量		70L			
付 属 品		アース線 (1)、工事説明書 (1)			
	F形のみ	ゴム製送油管(2.5m)(1)、ワイヤーバンド小(2)、排気エルボ(1)、ストッパーリング(1)、 タッピンねじ(1)、排気管断熱カバー(1)、給気ホース(1)、ワイヤーバンド大(2)			

型 式 の 呼 び		CUG-196CSR		CUG-196MR	
種 類	記 号	F	O	F	O
	燃 焼 方 式	圧力噴霧式			
	給 排 気 方 式	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形
	用 途 別 方 式	暖房用・融雪用		暖房用	
	給 水 方 式	タンク式			
	加 熱 方 式	1缶1水路式			
点 火 方 式		高電圧放電式(時限)			
使 用 燃 料		灯油(JIS1号灯油)			
燃 料 消 費 量		22.2kW (2.16L/h)			
暖 房 効 率		86.4%			
暖 房 出 力		19.2kW			
熱 交 換 器 容 量		2.8L			
保 有 水 量		6.0L (水タンク上限水位時)		6.3L	
最 高 使 用 圧 力		0.1MPa			
伝 熱 面 積		0.533m ²			
外 形 寸 法		幅600mm 奥行240mm 高さ720mm			
質 量		33kg			
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz			
定 格 消 費 電 力		点火時 205/240W 燃焼時 175/200W 待機時 1.3W			
電 源 コードの長さ		約2m			
給排気筒の型式の呼び		RWT-7M-6,FT-7S4,RWT-7N-1	—	RWT-7M-6,FT-7S4,RWT-7N-1	—
給 排 気 筒 呼 び 径		D49	—	D49	—
給排気筒壁貫通部孔径		83~96mm	—	83~96mm	—
排 気 温 度		260℃以下			
騒 音 レ ベ ル		41dB	45dB	41dB	45dB
ノズル	噴 霧 量	0.65GPH			
	スプレーパターン	ダンフォス社のホロータイプ			
	噴 霧 角 度	60°			
電 流 ヒ ュ ー ズ		筒形φ5.2mm×20mm B種溶断 10A			
安 全 装 置		対震自動消火装置 点火安全装置 燃焼制御装置 過熱防止装置 空だき防止装置			
そ の 他 の 装 置		異常過熱防止装置、排気管抜け検知装置(F形のみ)			
システム最大水容量		70L		—	
付 属 品		アース線 (1)、工事説明書 (1)			
F形のみ		ゴム製送油管(2.5m)(1)、ワイヤーバンド小(2)、排気エルボ(1)、ストッパーリング(1)、 タッピンねじ(1)、排気管断熱カバー(1)、給気ホース(1)、ワイヤーバンド大(2)			

仕様

型 式 の 呼 び		CUG-376CSR		CUG-376MR	
種 類	記 号	F	O	F	O
	燃 焼 方 式	圧力噴霧式			
	給 排 気 方 式	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形
	用 途 別 方 式	暖房用・融雪用		暖房用	
	給 水 方 式	タンク式			
	加 熱 方 式	1缶1水路式			
点 火 方 式		高電圧放電式(時限)			
使 用 燃 料		灯油(JIS1号灯油)			
燃 料 消 費 量		Lo：30.9kW(3.00L/h)、Hi：43.0kW(4.18L/h)			
暖 房 効 率		86.5%			
暖 房 出 力		Lo：26.7kW、Hi：37.2kW			
熱 交 換 器 容 量		2.8L			
保 有 水 量		6.5L(水タンク上限水位時)		8.2L	
最 高 使 用 圧 力		0.1MPa			
伝 熱 面 積		0.755m ²			
外 形 寸 法		幅600mm 奥行240mm 高さ800mm			
質 量		37kg			
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz			
定 格 消 費 電 力		点火時 240/280W 燃焼時 Lo：215/260W、Hi：235/280W 待機時 1.3W			
電 源 コードの長さ		約2m			
給排気筒の型式の呼び		FWT-10M	－	FWT-10M	－
給 排 気 筒 呼 び 径		D70	－	D70	－
給排気筒壁貫通部孔径		125mm	－	125mm	－
排 気 温 度		260℃以下			
騒 音 レ ベ ル		45dB	58dB	45dB	58dB
ノズル	噴 霧 量	0.85GPH			
	スプレーパターン	ダンフォス社のホロータイプ			
	噴 霧 角 度	60°			
電 流 ヒ ュ ー ズ		筒形φ5.2mm×20mm B種溶断 10A			
安 全 装 置		対震自動消火装置 点火安全装置 燃焼制御装置 過熱防止装置 空だき防止装置			
そ の 他 の 装 置		異常過熱防止装置、排気管抜け検知装置(F形のみ)			
システム最大水容量		145L		－	
付 属 品		アース線(1)、工事説明書(1)			
	F形のみ	ゴム製送油管(2.5m)(1)、ワイヤーバンド小(2)、タッピンねじ(1)、アルミテープ(1)			

アフターサービス

■保証について

- 保証書は販売店から必ずお受けとりください。
- 保証書は保証書に記載の条件、期間の無料修理をお約束するものです。
販売店名、お買い上げ日などの記入を確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼するとき

「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べください。直らないときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
ご 住 所	
お 名 前	
電 話 番 号	
製 品 名	油だき温水ボイラ
型 名	ボイラの前面に表示しています。
お買い上げ日	年 月 日
故 障 又 は 異 常 の 内 容	できるだけ詳しくまた、リモコンのランプ表示やチェックモード表示をお知らせください。
訪問ご希望日	

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、販売店にご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へお問い合わせください。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■補修用性能部品について

- 油だき温水ボイラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



据付け

■据付け工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店又は据付け業者に依頼し、お客様ご自身では行わないで下さい。

■据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり販売店又は据付業者とよくご相談してください。又、「標準据付け例」については、工事説明書を参照してください。

■騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

■据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

■試運転

試運転は、販売店または工事店と立合いで行ってください。

運転手順、異常時の処置方法について販売店又は工事店より説明を受けてください。

運転準備

1 油タンクに給油する (9ページ参照)

2 送油経路の空気抜きをする (9ページ「燃料切れの注意と空気抜きの方法」参照)

3 電源プラグをコンセントに差込む

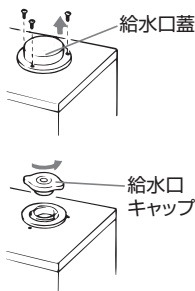
4 ボイラに循環液(不凍液)を給水する 給水方法

(CUG-116CSR型、166CSR型、
196CSR型、376CSR型)

1. 給水口蓋を外す

2. 給水口キャップは器具が冷えるのをまって開く

熱いうちに開けると熱湯が吹き出しやけどをする危険があります。



3. 専用不凍液を所定の割合に水道水で薄め給水する

4. 器具前面扉を開き、ポンプスイッチを「入」にし、暖房配管の各回路ごとに不凍液を給水し空気を抜く

5. 水タンクの水位が下がらなくなったら「上限」の水位まで給水する



「上限」の水位以上入れますと暖房運転中、本体後部ドレンホースより不凍液が一定量あふれることがありますので容器で受けてください。

6. ポンプスイッチを「切」にして、器具前面扉を閉める

給水方法

(196MR型、376MR型)

- ボイラは密閉配管専用となっています。
- 給水及び空気抜きの方法は、付属の工事説明書を参照してください。

5 ドレンホースを大きな容器で受ける

- 器具後面のドレンホースより循環水が出てくる場合がありますのでドレンホースを大きな容器で受けてください。

確認

- ボイラや送油経路、油タンクから油漏れがないか。
- ボイラや暖房配管から循環水(不凍液)漏れがないか。
- 暖房配管の行き、戻りのバルブが開いているか。

据付け つづき

運転

- 1 リモコンの運転スイッチを「入」にする
 - 運転ランプが点灯します。
 - 約15秒後燃焼ランプが点灯し燃焼を開始します。
 - 設定湯温になると燃焼が停止し燃焼ランプは消灯します。
- ※湯温によって自動的に燃焼、停止をくり返し、それに合わせて燃焼ランプも点灯、消灯をくり返します。

- 初期運転時及び燃料切れ後の点火の際に送油経路に残った空気により着火ミスをする事がありますが故障ではありません。
- 初めての燃焼では、消音材、断熱材、パッキンの急速乾燥により臭いや白い煙がキャビネット開口部から20分間程度ですが器具の異常ではありません。

正常運転の目安

- 正常運転の目安として19～21ページのような現象がないことを確認します。

停止

- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする
 - 運転ランプが消灯し運転を停止します。

MEMO

保証書(販売店様控)

型 名	CUG-116CSR F・O/CUG-166CSR F・O/CUG-196CSR F・O CUG-376CSR F・O/CUG-196MR F・O/CUG-376MR F・O		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	CUG-116CSR F・O/CUG-166CSR F・O/CUG-196CSR F・O CUG-376CSR F・O/CUG-196MR F・O/CUG-376MR F・O		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
- (13) 公害による不具合
- (14) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (15) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL (083)248-1111

お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名	
	電話番号

●記入しておくで修理などの依頼のときに便利です。

一般のお客様から のお問い合わせは、 フリーダイヤルへ	 0120-925-339 携帯電話からは 0570-666-339 (通話料金がかかります)	お客様から取得いたしました個人情報 は、お客様へのお問い合わせ対応を 目的として利用し、適切に管理します。 修理業務等を委託する場合や正当な理 由がある場合を除き、第三者に開示・ 提供いたしません。
-----------------------------------	---	--

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する お問い合わせ	24時間365日受付	商品に関する お問い合わせ	平日 8:10～18:00 土日祝 8:10～17:00
------------------	-------------------	------------------	------------------------------------

愛情点検 	長年ご使用の石油暖房機の点検を！	
	こんな症状は ありませんか？ ●油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止 故障や事故防止のため、コンセント から電源プラグを抜いて、必ず販売 店に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1